

# 「環境学習プログラム」を作成しました

廃棄物に関する

～より多くの方に「環境学習」をお届けするために～

資源循環局では、これまでも主に子どもたちを対象にした「出前教室」や、地域にお住まいの皆さまに向けた「住民説明会」など、ごみの分別・リサイクルなどに関する環境学習の取組を行ってきました。

このたび、これまでに実施してきた環境学習を世代別・テーマ別にまとめ、廃棄物分野における「環境学習プログラム」を作成しました。このプログラムでは、学校や地域などで出前教室や住民説明会を実施したい方に向けて、講座のテーマや申込方法などをわかりやすくまとめました。プログラムを通じて、より多くの方に環境学習をお届けすることで、様々な世代の方に環境への意識を高めていただくことを目指しています。

## ■ プログラムの主な内容

### ① 世代別モデルケース

「環境学習プログラム」は、幼少期に培われた環境への意識を、中学・高校・大学生及び社会人になっても継続していただくため、様々な世代を対象としています。

そこで、保育園・幼稚園から地域・事業者まで、各世代を対象にどのような「環境学習」を行うことができるのか、モデルケースをご紹介します。

### ② テーマ別講座内容

近年の私たちの生活は便利になる一方で、地球温暖化や海洋汚染など環境に関する問題は人類共通の課題といえます。

「環境学習プログラム」では、最近注目されることが多かった「食品ロス削減」及び「プラスチック対策」、ごみ問題解決の基本となる「ごみのゆくえ」及び「分別・リサイクル」の4つをテーマとしています。

各講座テーマには、現状や課題をお伝えする「基本プログラム」及び学びのご希望に応じて追加できる「選択プログラム」をご用意しています。



### ③ 施設見学のご案内

家庭から排出された燃やすごみを焼却する焼却工場や、焼却灰を埋め立てる最終処分場、ごみや環境問題について学べる啓発施設など、見学可能な施設をご紹介します。

## ■ プログラムの閲覧

「環境学習プログラム」は資源循環局ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/gakushu/program.html>

## ■ 新型コロナウイルス感染症への対応について

このプログラムは平常時にご提供できる内容を掲載しています。現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、環境学習の実施方法においても様々な制限が必要となる場合があります。また、一部施設の見学を当面休止しています。



### ごみのゆくえ

<b>収集車まで ゴミが入るの？</b>	<b>分別しても、 誤投は感やして しまっって本音？</b>	<b>資源物 燃焼炉 ごみ焼却炉</b>
<b>学校には 横浜市の収集車が 来ないのはなぜ？</b>	<b>焼却工場まで ゴミを運ぶのは どうするの？</b>	<b>集積場所の他に ゴミや資源物を 持ち込める場所は ないの？</b>
<b>焼却工場の隣に 温水プールが あるのはなぜ？</b>		<b>缶・びん ペットボトル 同じ袋に入れて いいのはなぜ？</b>

**基本プログラム** そんな疑問にお答えします…

資源物処理の流れを理解する

焼却場から集められたゴミや資源物がどのように処理されているのをご説明することにより、市民一人ひとりが「資源物を適正に処理する仕組み」の重要性であり、その役割が大きいことを学びます。

また、リサイクルの工程やゴミの最終処分の様子を知ることによって、「なぜ分別しなければならぬのか？」が正しく理解できます。

### 選択プログラム

1 収集作業の日【動物舎・稲刈り学習の視点】 続いてみよう

収集員が1日の作業の様子を説明します。実際に使っている収集器具の紹介や「日頃のごみを集めるのって」「自宅外への集積場所をどうするか？」などの疑問を解いて、収集作業の様子を覚えてもらうことにより、ゴミの収集がスムーズに行われるよう、注意喚起、資源物の回収がスムーズに行われるよう、注意喚起を行います。

2 収集車を見る・触れる【高学年向けの学習の視点】 続いてみよう

本物の収集車に乗って、収集員の体験や作業の手順を学習します。ゴミの積み込み作業や運転の様子、収集車がゴミを排出する動作の様子などを通じて収集作業への関心を高めます。

3 資源処理センターや焼却工場等の仕組み【リサイクル資源の視点】 続いてみよう

集められたゴミや資源物が、資源処理センターや焼却工場などどのように処理されているのかを、子どもたちを通じて詳しく学びます。

また、資源処理センターや焼却工場の見学や学習を促すことで、「なぜゴミや資源物の処理が必要なのか？」が理解しやすくなります。

お問合せ先

資源循環局 3R推進課長

江口 洋人 Tel 045-671-2563